

(一般後期) 平成29年度入学試験 数学

1 (1)  $x$  のとり得る値の範囲は  $x > 1$

(2)  $\cos A + \cos B + \cos C$  の最大値は  $\frac{3}{2}$

そのときの  $x$  の値は 2

(3)  $\frac{r}{R}$  の最大値は  $\frac{1}{2}$

そのときの  $x$  の値は 2

2 (1)  $a_2 = 2$

(2)  $a_3 = 3$

(3)  $\sum_{k=1}^{1000} a_k = 1998$

(4)  $\sum_{k=1}^{1000} ka_k = 1000665$

(5)  $a_2 \times a_3 \times a_4 \times \cdots \times a_{1000}$  の桁数は 260

3 (最後の答だけでなく、答の導き方も書くこと。)

(1)  $f(x) = x^3 + 3ax^2 + 3a^2x$  とおくと、 $f'(x) = 3x^2 + 6ax + 3a^2$  から、  
 $x = t$  における接線は、 $y = f'(t)(x-t) + f(t)$  より、  
 $y = (3t^2 + 6at + 3a^2)x - 2t^3 - 3at^2 \dots \textcircled{1}$

$(a, b)$  を通るので、 $b = (3t^2 + 6at + 3a^2)a - 2t^3 - 3at^2$   
 $2t^3 - 6a^2t - 3a^3 + b = 0$  より、 $g(t) = 2t^3 - 6a^2t - 3a^3 + b$  とおくと、 $g(t) = 0$  の実数解の個数が接点の個数である。グラフの概形より、1つの接点につき接線は1本決まるので、 $g(t) = 0$  の実数解の個数を調べるとよい。

$g'(t) = 6(t+a)(t-a)$ 、 $a > 0$  より、 $t = \pm a$  で  $g(t)$  は極値をもつ。

$g(-a)g(a) = (a^3 + b)(-7a^3 + b)$  から、

$g(-a)g(a) < 0$  のとき、つまり  $-a^3 < b < 7a^3$  のとき、 $g(t) = 0$  は異なる3つの実数解をもつ。

$g(-a)g(a) = 0$  のとき、つまり  $b = -a^3$ 、 $7a^3$  のとき、 $g(t) = 0$  は異なる2つの実数解をもつ。

$g(-a)g(a) > 0$  のとき、つまり  $b < -a^3$ 、 $b > 7a^3$  のとき、 $g(t) = 0$  は実数解を1つもつ。以上より、

$-a^3 < b < 7a^3$  のとき3本、 $b = -a^3$ 、 $7a^3$  のとき2本、 $b < -a^3$ 、 $b > 7a^3$  のとき1本

(2)  $a > 0$ 、 $b < 0$  より、(1) から  $b = -a^3$

$g(t) = 2t^3 - 6a^2t - 3a^3 - a^3 = 2(t+a)^2(t-2a) = 0$  から、 $t = -a$ 、 $2a$

$\textcircled{1}$  に  $t = -a$ 、 $2a$  を代入すると、 $y = -a^3$ 、 $y = 27a^2x - 28a^3$

ゆえに、 $\ell_1: y = -a^3$ 、 $\ell_2: y = 27a^2x - 28a^3$

(3) 右図の斜線部分の面積を  $S$  とする。

$$\begin{aligned} S &= \int_{-a}^a \{x^3 + 3ax^2 + 3a^2x - (-a^3)\} dx \\ &\quad + \int_a^{2a} \{x^3 + 3ax^2 + 3a^2x - (27a^2x - 28a^3)\} dx \\ &= \int_{-a}^a (x+a)^3 dx + \int_a^{2a} (x-2a)^2(x+7a) dx \\ &= \int_{-a}^a (x+a)^3 dx + \int_a^{2a} \{(x-2a)^3 + 9a(x-2a)^2\} dx \\ &= \left[ \frac{1}{4}(x+a)^4 \right]_{-a}^a + \left[ \frac{1}{4}(x-2a)^4 + 3a(x-2a)^3 \right]_a^{2a} \\ &= \frac{27}{4}a^4 \end{aligned}$$

